



夏は蜂（ハチ）の巣にご用心！

●すぐやる課発足 55周年

すぐやる課は昭和44年10月6日に、人口増加に伴い道路や側溝等の補修や清掃など、都市基盤整備の改善が急務の状況において、当時の松本^{まつもと}清^{きよし}（第9代・第10代市長）によって誕生しました。

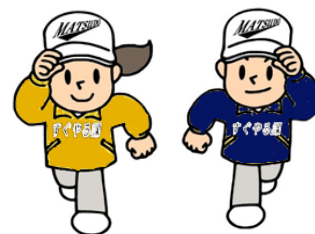
すぐやる課は、「すぐやらなければならないものですぐやり得るものはすぐにやります。」という【すぐやる精神】に基づき、市民の皆様からの様々な要望に対し、緊急性があり、すぐやる課で解決できるものは、すぐやる課で解決し、要望内容が広範に及ぶものなどは、担当部署と連携して迅速な解決に努めています。

発足当初からの累計処理件数が令和6年3月末日時点で
17万8,000件を超えました。

本年の10月6日をもって発足55周年を迎えますが、伝統と革新を念頭に、これからも「市民のサポーター」として取り組んでまいります。



すぐやる課55周年
ロゴマーク



あなたの身近にすぐやる課

●すぐやる課の業務内容

※市政についての要望等の緊急処理及び連絡に関すること。

【危険回避業務】

土木関係・・・側溝・側溝蓋の破損補修、道路上の穴や段差補修、放置物の撤去

動物関係・・・スズメ蜂等の駆除、カラスの雛の保護

【不快解消業務】

土木関係・・・側溝や道路の清掃

動物関係・・・動物死体処理、ヘビの保護

【その他市民要望】

側溝内への落とし物・・・家や車の鍵、補聴器、ワイヤレスイヤホン など

【その他】

小学校通学路パトロール・・・通常業務の中で松戸市教育委員会学校教育部学務課
学校保健担当室と連携

徘徊高齢者探索パトロール・・・通常業務の中で福祉長寿部高齢者支援課と連携



すぐやる課標語



●蜂の巣にご注意ください

7月、8月はすぐやる課における蜂の巣駆除数が最も多くなる月です。気温が上がる夏場にかけては、蜂の数が増えて巣も次第に大きくなり、蜂は雨風をしのげる場所であれば、どこにでも巣を作る可能性があります。蜂の生態を知り、事前に蜂の巣をつくらせない予防や初期のうちの発見が大切です。



防護服を着た職員がスズメ蜂の巣を駆除している様子

▶蜂が巣を作りやすい場所

家屋の軒下、ベランダ、窓枠や敷地内の庭木など、雨風が避けられるところならどこでも巣を作ります。

▶巣を作られないための対策方法

【軒下・外壁】春先から玄関や外壁の軒下を注意深く観察する。

【庭木】うっそうとした空間をつくらないように、きれいに剪定する。

【窓枠・戸袋】隙間に作られる場合があるため、毎日開け閉めすると効果的です。

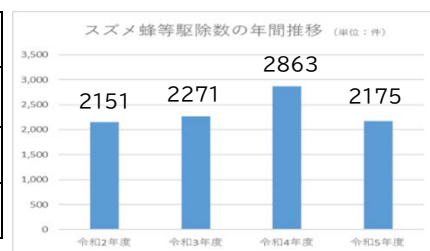
【通気口、室外機】金網で塞いだりし、出入りをできなくすると効果的です。

【家の外周】物やごみを置かず、風通しの良い環境にする。

◎巣を作られる可能性を少なくし、巣をつくられても早く発見すれば、巣が小さいので安全に駆除ができます。

▶スズメ蜂等駆除の受案件数

項 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
スズメ蜂等駆除件数	2,151 件	2,271 件	2,863 件	2,175 件
スズメ蜂等駆除以外の対応件数	1,404 件	1,993 件	2,207 件	2,094 件
すぐやる課で対応した年間要案件数	3,555 件	4,264 件	5,070 件	4,269 件



●職場体験（インターンシップ）の実施

学校の生徒や学生を対象として、市民から寄せられる様々な要望に対し、すぐやる課での業務を通して、「すぐやる精神」を学んでいただくことを目的として実施しています。

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市総合政策部すぐやる課

☎047-366-7302 FAX047-366-6811

✉ mcsuguyaru@city.matsudo.chiba.jp